



BEET 政府認証マフラー

NASSERT Evolution Type II

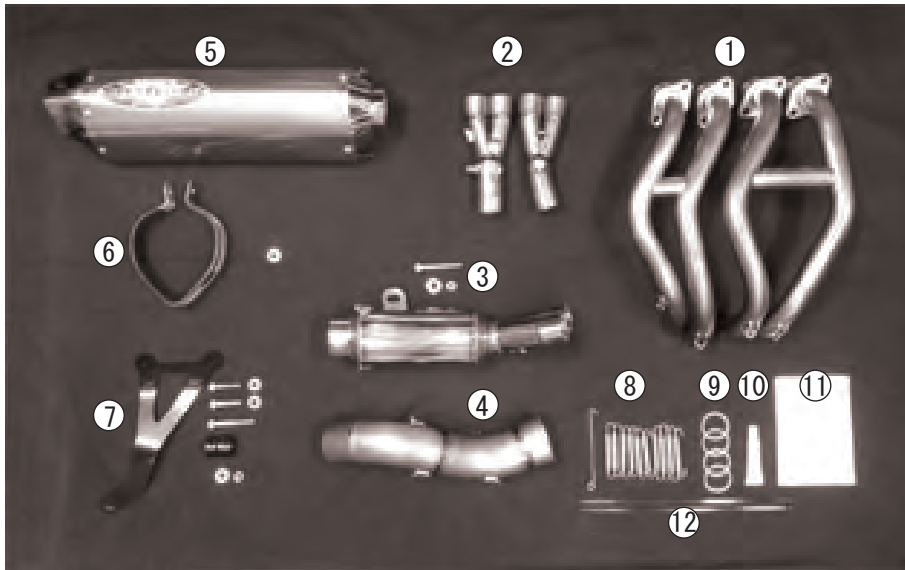
KAWASAKI Ninja ZX-25R ( '20 )

### 取扱説明書

**▲ 注意** 作業前に必ずお読み下さい。

パッケージの内容を下の写真でご確認下さい。

- 取り付け作業に関しましては、設備の整ったバイクショップ又は、パーツショップに作業依頼することをお勧めします。
- 取り付け作業者は、必ず取り付け説明の各項目、注意事項、部品構成を理解した上で、作業を進めてください。
- 作業をされたショップの作業者は、ノーマルパーツ及び説明書などは必ずユーザーの方へお渡し下さい。



① エキパイセット	⑦ サイレンサーステーセット
② 集合部セット	⑧ スプリングセット
③ サブサイレンサーセット	⑨ エキパイガasketセット
④ テールパイプ	⑩ 耐熱シリコン
⑤ サイレンサー	⑪ 保証書セット
⑥ サイレンサーバンドセット	⑫ タイラップ

## I ノーマルマフラーの取り外し



注意

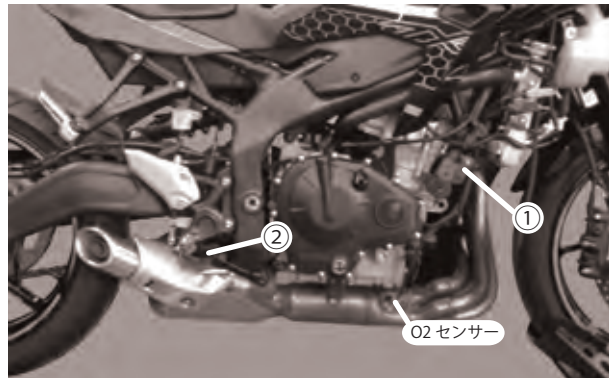
走行後マフラーは非常に高温になっております。十分冷ましてから作業を行ってください。

### 【 外装の取り外し 】

- インナーロアカウル  
サイドカウルを取り外します。

### 【 ノーマルマフラーの取り外し 】

- O2 センサーを取り外します。
- マフラー本体下部をジャッキ等で支え  
①ナット、②ボルト、ナットを外し  
マフラーを取り外します。



※①ナットはナサートマフラー取付時  
使用します。

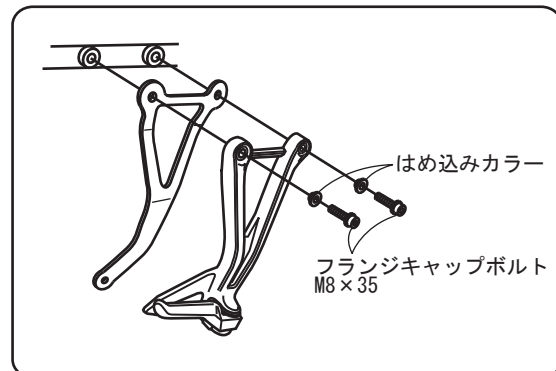
HINT

ノーマルマフラーは重量が重いのでジャッキ等を使用することをおすすめします。

## II ナサートマフラーの取り付け準備

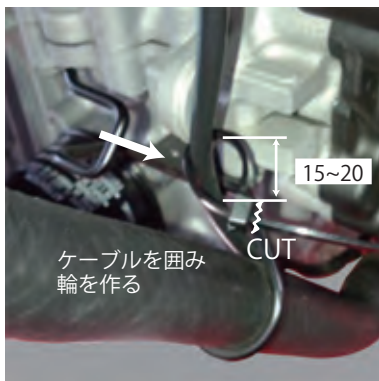
### 【サイレンサーステーの取り付け】

- 右側タンデムブラケットを一度取り外し、  
付属のサイレンサーステー、ボルト、カラー  
と共に取り付けます。



### 【クイックシフターの配線取り直し変更】 ※クイックシフター取付車両のみ

- エンジン左前部



- ※ コードが輪の中をスムーズに  
動くか確認します。
- ※ コードが固定された場合  
シフター故障の原因となります。

- クイックシフター取付コードをラジエーターホース側に移動し  
付属のタイラップでコードを囲み 15 ~ 20mm の輪を作ります。
- 出来た輪をタイラップでステーに固定し余分な部分を切り取ります。

### Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 1

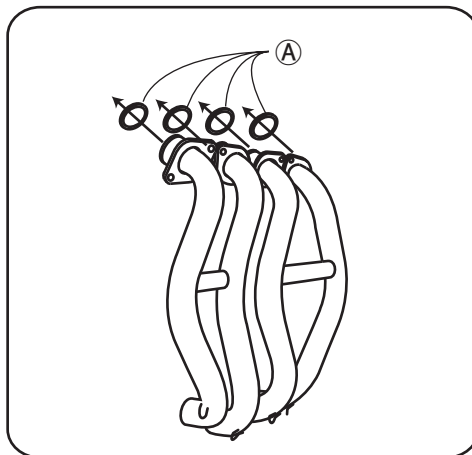
#### 【エキパイの取り付け】

- エキパイガasketを付属(A)に交換します。

#### HINT

耐熱シリコンを少量塗っておくと落下防止になり  
取り付けやすくなります。

- ノーマルのナットを使ってエキパイを取り付けます。  
仮止めの状態にしておきます。

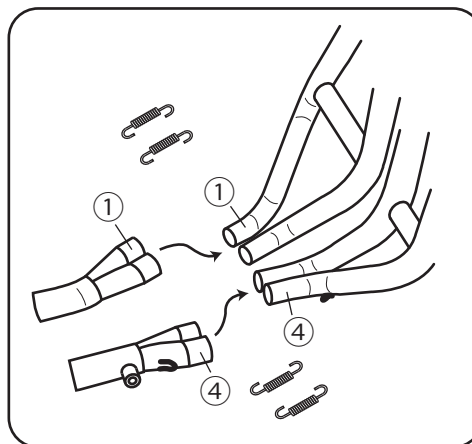


#### 【集合部の取り付け】

- 組み立て時、差し込み部分に  
薄く耐熱シリコンを塗布してください。
- エキパイに集合部を差し込み  
スプリング(4個)を取り付けます。

#### HINT

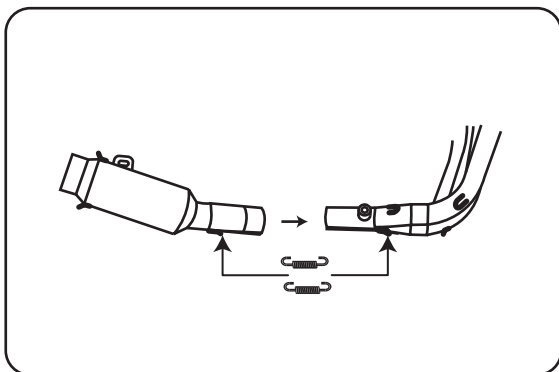
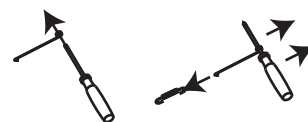
集合部のジョイント部分は高精度に出来ていますので、  
プラスチックハンマー等で軽く振動を与えながら  
慎重に組み立てます。



#### 【サブサイレンサーの取り付け】

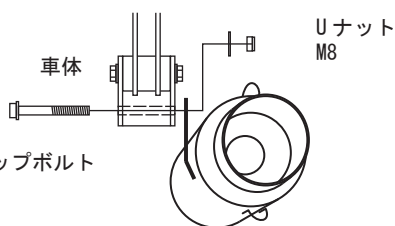
- 図のように取り付けます。
- ステーは仮締め状態にしておきます。

スプリングツール



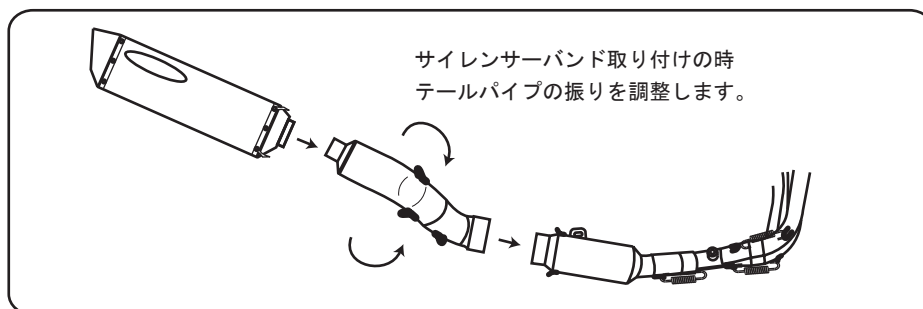
後方から見た図

平ワッシャー  
M8 × Φ22



フランジキャップボルト  
M8 × 65

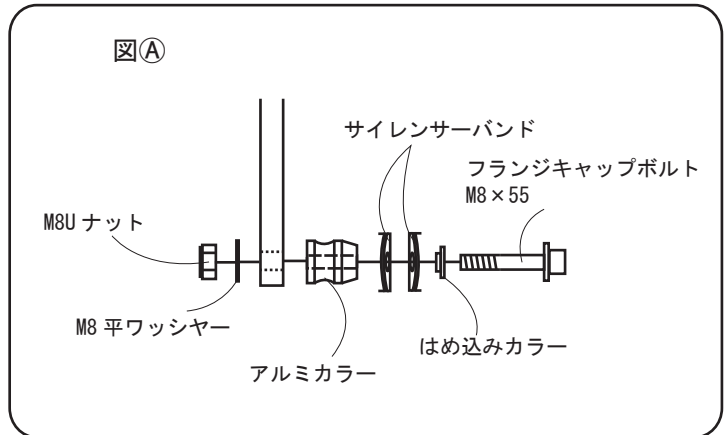
#### 【テールパイプ、サイレンサーの取り付け】



サイレンサーバンド取り付けの時  
テールパイプの振りを調整します。

## Ⅲ ナサートマフラーの取り付け 2

- サイレンサーにサイレンサーバンドを通し  
テールパイプの振りを調整しながら  
図①のように取り付けます。

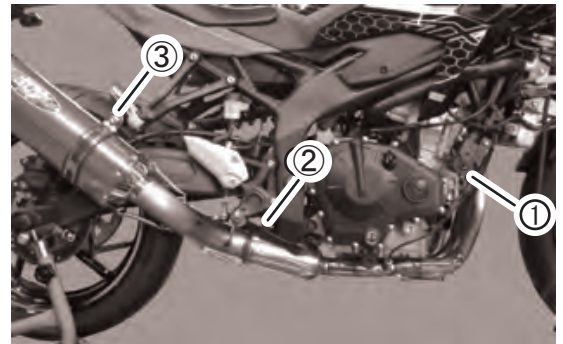


- テールパイプ、サイレンサーにスプリングを取り付けます。

### 【本締め】

次の順で本締めしていきます。

- 1 エキパイフランジナット
- 2 サブサイレンサー
- 3 サイレンサーステーとバンド



- ⚠ ① エキパイフランジナットは均等に  
締め付けを行ってください。  
ボルト、ナットを痛めたり排気漏れの原因となります。

### 【02 センサー取付】

図のように取付け、  
配線をクランプし  
元通りに結線します



### 【外装の取付け】

取り外した逆の順序で取り付けます。

- 各部ボルト、ナットの締め忘れがないか、干渉しているところがないか再度確認します。
- 本締めが完了したらエンジンを始動する前に、マフラー全体をパーツクリーナー等で脱脂します。

⚠ 油分がついたままマフラーに熱が入ると焼色にムラが生じます。

- エンジンを始動し排気漏れがないか確認します。

⚠ エンジンを始動するときは、換気のよい所で行ってください。

- すべてのボルト・ナットは定期的にチェック、増し締めを行ってください。